

水戸谷貞夫先生 追悼文集



在りし日の水戸谷貞夫先生
(日本教育カウンセラー協会秋田県支部設立総会にて、
2003年4月23日)

秋田県教育カウンセラー協会

私のメンター

秋田県教育カウンセラー協会 代表 濱田 眞
(秋田大学 非常勤講師)

今から30年前の話です。ある日突然、校長からの指令「進路指導に関する論文を作成・投稿せよ」。まともな論文を書いたことのなかった私は途方にくれました。思い悩んだ末に先輩教員に相談したところ、水戸谷貞夫先生を紹介していただきました。

水戸谷先生は文部省調査官を務めた雲の上の人、初めてお会いした時には、緊張のあまり冷汗が背中を伝って流れていたことを今でもありありと思い出します。場所は先生ご推薦の「如斯亭」、旧秋田藩主佐竹氏別荘です。先生からは論文の目的、内容、方法を明確にし、理論を実践で裏付けるよう、指導がありました。その後は、先輩教員を交えての大宴会、先生の繊細かつ豪放磊落なお人柄に魅了され夜が更けるのを忘れて盃を重ねました。

あの日以来、私の教育観は変わりました。教育専門書を読み漁り、理論に基づいて実践を構造化するよう努めました。数年後には大学院で学び直し、心理学をもとに数学教育を論じました。以来、心理学は私のメンターです。水戸谷貞夫先生は残念ながら黄泉の国に旅立たれました。しかし、私の心の中にはまだ生きておられます。人生の暗闇を照らす「メンター」として。



水戸谷先生のご遺志を引き継いで

秋田県教育カウンセラー協会 代表代行 渡辺 一郎
(秋田クラーク高等学院 顧問)

水戸谷先生と最初にかかわりを持ったのは私が土崎小学校に勤務した時でした。土崎小学校では毎年歴代の校長先生をお招きしてその年の学校の様子をお話しする会がありました。水戸谷先生は当時東京に住まわれており出席できないため、私の方で会の様子などをその都度資料にしてまとめ東京に送っておりました。先生からはいつも丁寧な礼状をいただきました。

退職後、濱田先生から協会入会のお誘いがあり、協会の役員会に出席させてもらいました。この時初めて水戸谷先生と直にお話しすることができました。先生が東京から戻られてから様々な会でお目にかかっていたのですが、挨拶程度で終始し、親しくお話ししたことはありませんでした。この役員会の席で図らずも代表をされていた先生とお会いし、学校教育に対する先生のお考えを伺いました。同時に、現場を離れた者の果たすべき役割を教えてくださいましたように思います。

水戸谷先生は人との関係を本当に大事にされた方でした。私が協会にかかわるようになってからは研修会や養成講座等の事業が終わると必ずお手紙をくださいました。事業遂行に対するねぎらい（私はほとんど何もしていなかったのですが）、今後のカウンセリング教育の在り方などが書かれており、淡々とした筆致の中にも文部省調査官として学校教育をリードされてきた重みがありました。

協会の名誉会長となられてからはお顔を拝見する機会がなくなり心配していたのですが最後は逝去の報となってしまいました。協会の充実のためにはもう少し力をいただきましたかっと思ひます。

設立以来、協会を指導されてきた水戸谷先生の遺志を受け継ぐことが先生のお気持ちに答えることではないかと思ひます。学校現場を支え、子供たちが充実した学校生活を送れるよう、水戸谷先生のようににはできないのですが私なりに精進したいと思ひています。



リーダーシップと無条件の肯定的配慮

秋田県教育カウンセラー協会 事務局長 阿部 千春
(函館大谷短期大学 専任講師)

振り返りますと、水戸谷先生からは、人としての生き方、リーダーとしてのあり方について範を示していただいた思いでおります。

水戸谷先生のリーダーシップのとられ方は、まさに教育カウンセリングを地で行くものでありました。こうあるべきという縛りが強くなく、役員である私たちに常にやる気と勇気、自信を与える伝え方が深く印象に残っております。そして、今後の人生においてお手本としたいところが、ぶれることのない信念の強さと潔い生き方であります。そのような生き方をそばで見させていただき、改めて感謝の念に堪えません。

私が水戸谷先生から色紙に書いていただいた言葉は、「老驥^{ろうき}に伏すも、志は千里に在り」(曹操『歩出夏門行』)になります。いただいた当時にも増して、心に響くものがあります。エネルギーを蓄えて、新たな気持ちで進んでまいりたいと思っております。

一つの事業が終わりますと、水戸谷先生から必ずお手紙やお葉書が手元に届きましたが、それが私にとりまして、事業が終わった安堵感とプラスのフィードバックにつながっております。至らない点もたくさんあったことと思いますが、いつも温かく受け止めてくださったことや、細かいことまでご相談させていただくことが多々ありましたが、すべてにお応えくださったことを今でも心から感謝いたしております。また、役員の方お一人お一人について常に気に掛け、しばしば私に様子を尋ねていらっしゃり、心から人を大事にされる先生であることを肌で感じておりました。

講座中に事務局の仕事をしている私に、そっと飲み物を差し出し、にっこりと笑って立ち去っていく水戸谷先生のお姿が今でも心に浮かびます。

水戸谷先生、十年もの長い間、お世話になりました、本当にありがとうございました。ご生前のご功績と深い感謝の意と尊敬の念をもって、心よりご冥福をお祈り申し上げます。合掌



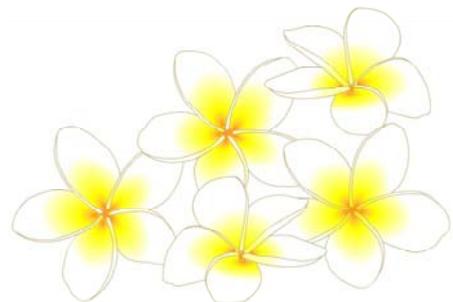
控え室からの横顔

秋田県教育カウンセラー協会 理事 木村 優子
(元 横手市立横手南小学校 教諭)

「私が留守番しますから、講義に早く出て・・・」

水戸谷先生の控え室での一言です。講師控え室に鍵がかけられず、でも講師の方の貴重品等があり動けないなど思っていたら、そう声をかけて下さいました。また、「今後会長を引き受けて下さる然るべき方を・・・。」と、ご高齢で体調を崩されていたにも関わらず責任感のお強い方だなど思いました。これまで広い視野でカウンセラー協会や私たちを温かく見守っていただきました。戦前戦後を生き抜いてきた昭和一ケタ生まれ。思いはあれど口にせず・・・。僭越ですが私の父も同世代。同じ空気を感じ、老いを取り巻く雑談をよくさせていただきました。懐かしい思い出です。退院後はゆっくりゆっくりと杖をついて会場までお越し下さいました。病後の高齢者にとって秋田市のど真ん中の会場への道のりは、“玄関に車を着けすぐ家の中へ入る”とはいかないジャングルみたいなものです。不安定なお足元からお疲れなのではないかと案じることが私の中で続いていました。そんな中であっても、カウンセラー協会の精神を受け継いでくれる方と願っておられました。それは事務局の阿部さんをはじめ会員みなさんが多忙にも関わらず一生懸命活動しているそのパワーに応えたいという水戸谷先生の熱い思いからです。控え室で感じていました。また、多くは語らぬ美学たりとも、協会や会員の活動をすごいな、すばらしいなと強くお話し下さることがありました。秋田の教育カウンセラー協会の有機的な動きの原点はこの互いへの思いと絆なのではないでしょうか。一心に向かう人の思いは人を動かす。見えないと思う糸がここでは見えるのです。

水戸谷先生、忙しさに流されることなく大事なことを丁寧に行ってきた秋田教育カウンセラー協会をこれからも見守って下さいね。微力ながらがんばります。本当にありがとうございました。そして心よりご冥福をお祈りいたします。



水戸谷先生を偲んで

秋田県教育カウンセラー協会 理事 佐藤 健吉
(秋田市立河辺中学校 教諭)

先生との出会いは本会創立の時でした。事務局長をはじめ運営に携わった役員に激励のお言葉を色紙にお書きになり、一人一人に手渡されたのです。そのお言葉が役員をどれほど力づけたか計り知れないものがありました。また、若手会員に対しては、名刺交換のマナーなどについても丁寧に、時に厳しくご指導くださいました。教育カウンセラーとしての専門的な指導にとどまらず、私たち会員が社会人として、人間として、生きていく上で大切な多くのことを、先生から学ばせて頂きました。未熟な私たちに対しても真正面から向き合い、根気強く教え、励まし、育んでくださいましたことに、深く感謝と敬意を表しています。また、私は進路指導主事として進路指導の研究で何を最初にするべきか悩んでいたとき、先生は私をご自宅に招いてくださり、書斎の本棚の中から「あなたにこれをあげるから、まずこれを読みなさい」と、一冊のぶ厚い本を私に手渡されました。「日本における進路指導の成立と展開」日本進路指導協会編（平成10年）でした。この本からは進路指導の歴史、業者テスト廃止の経緯など学ぶことができました。進路指導を研究する上で必読の書と言えましょう。

水戸谷先生は本県の指導主事をはじめ、秋田大学教育学部附属中学校副校長、文部省教科調査官、財団法人日本進路指導協会日本進路指導協会監事などを歴任され、現在は本会代表、秋田県小・中学校進路指導研究会名誉会長としてご活躍なさいました。本県のみならず、わが国の進路指導をはじめとする教育界の発展に多大なご尽力をなされた先生でした。

このような偉大な先達となる先生からいただいた教をこの後の教員生活に生かし、後輩に伝えていきたいと思えます。



水戸谷先生を偲んで

秋田県教育カウンセラー協会 会計長 高橋 智子
(秋田県立湯沢高等学校 教諭)

水戸谷先生のご逝去の報に接し、心よりお悔やみ申し上げます。

本協会設立当時から大変親身にご指導くださり、感謝の気持ちでいっぱい
です。いつも澁刺としていらっしゃった先生のお姿が心に残っております。
周囲に対する細やかな心遣いやユーモア溢れるお話等、たくさんの思い出が
脳裏によみがえってまいります。本協会のあたたかな雰囲気はまさに先生の
お人柄そのものです。もっともっとご指導いただきましたかった。ご冥福をお祈
り申し上げます。

秋田県教育カウンセラー協会 会計次長 菅 昭子
(横手市立栄小学校 教諭)

秋田県教育カウンセラー協会に多大な功績を残してくださった水戸谷先生
のご逝去を心から、お悔やみ申し上げます。私は、水戸谷先生と直接多くの
言葉を交わしたわけではありません。でも、10周年の記念誌には、先生のお
人柄を偲ばせるたくさんの記述があり、直接言葉を交わしていなくても、私
が、今この場所にいるのは、先生の導きがあったからこそだという思いを強
くしています。協会の方々の学びの姿、行動するときのあ・うんの呼吸、そ
れは、水戸谷先生のお姿から会員のみなさんが学んだことでもあると思うの
です。その中に自分がいられることの心地よさも感じさせてもらっていま
す。本当にありがとうございました。ご冥福を心からお祈りいたします。

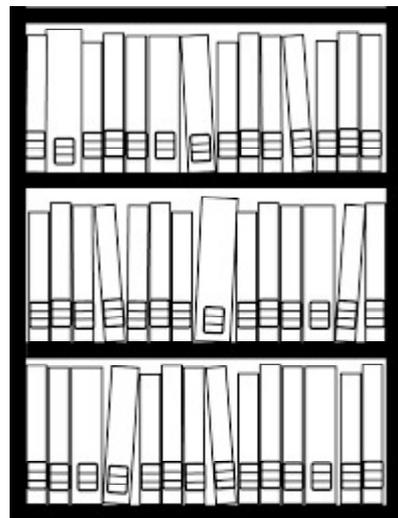
「寄贈・水戸谷」とご本人

秋田県教育カウンセラー協会 監事 伊藤 忠宏
(秋田市立旭南小学校 教諭)

私が水戸谷先生のお名前に初めて接したのは、カウンセラー協会に入る前、総合教育センターに研修員として一年間いた時のことでした。心理学という響きの恰好のよさと怪しさに惹かれて秋田大学の教育心理学科に入学したものの、教育学研究室に割り振られ心理学に関わることなく卒業を迎えてから10年。与えられた絶好の機会だと考え、センターの資料室で心理に関する図書を読み漁っていると「寄贈・水戸谷」の文字を何度も目にしました。たくさん本を読まれた方なのだなという印象でした。

その後、縁あってカウンセラー協会に入会し、初めて「寄贈・水戸谷」のご本人とお会いすることになります。「寄贈・水戸谷」のご本人は、いつもスーツを着こなしたダンディーで優しい方でした。養成講座などでいらした講師の方と楽しそうに話す豊富な知識と人脈を持たれながら、私たちとも気さくに接してくださる方でした。懇親会ではいつもホットウイスキーを口にしながら「体は冷やさないほうがいい。」とおっしゃっていたことも思い出されます。

秋田県ではこれから若い先生たちが増えることが予想されます。水戸谷先生の志を受け継ぎ、多くの方に学ぶ場や機会を与えられる協会として活動していければと思います。水戸谷先生のご冥福をお祈りするとともに、今までのご指導に感謝いたします。ありがとうございました。



水戸谷先生の思い出

秋田県教育カウンセラー協会 事務局員 木村留衣子
(秋田県立大曲高等学校 教諭)

水戸谷先生には、役員会や行事の際、いつもあたたかく見守っていただき、また気さくに声をかけていただきました。やさしい語り口の中に、はっとさせられるお話も多く（すべてを受け取れていたかは自信がありませんが）、また、私たちに気を遣わせないように、という先生の心遣いに、甘えてしまうことばかりでした。いつまでもお元気なように見えていたので、訃報にまさかとの思いを禁じえませんが、それもまた先生のお気遣いだったのか、とどこまでも先生の大きさに頭が下がる思いです。先生との出会いという財産を、これからも学び続け、現場で生かすことで、少しでも恩送りにできるようにと改めて思っております。

水戸谷先生、長い間、本当に本当にありがとうございました。

教育カウンセリングの風土を秋田に…

秋田県教育カウンセラー協会 事務局員 藤谷 淳一
(横手市立朝倉小学校 教諭)

体調を崩されたと聞き、実際こんなに早く訃報を耳にするとは思っていませんでした。言葉にならない寂しさを覚えます。水戸谷先生と始めてお会いしたのは、今から八年前、私が本研修会に始めて参加した時でした。秋田県に教育カウンセリングを根付かせたいという思いを熱弁されていたことがとても印象に残っています。いろいろとご助言をもらおうと席に伺った際に、最後に「それでいいんだよ。」とあっていただき、何だか不思議な感覚になったことが、研修を続ける一つのきっかけになっています。

今後は、本協会でも共有できた時間を大切にし、水戸谷先生が願った教育カウンセリングを秋田県に根付かせることができるように粒粒辛苦しいと思っております。こころより水戸谷先生のご冥福をお祈り申し上げます。

水戸谷先生を偲んで

秋田県教育カウンセラー協会 事務局員 淡路亜津子
(秋田県立湯沢翔北高等学校 教諭)

水戸谷先生，これまで大変お世話になりました。思いやりとの激励のお手紙もいただきました。感謝の気持ちと尊敬の念でいっぱいです。秋田県出身の教育者，同郷の先輩として誇りに思っています。

先生のご指導を今後に生かし，「子どもたちが納得のいく進路決定ができる」進路指導に努めていくことをお約束します。

ご冥福をお祈りいたします。



感 謝 状

秋田県教育カウンセラー協会 代表
水戸谷 貞夫 殿

貴殿は、平成十五年四月の本会設立以来、九年間にわたって代表を務めてこられました。貴殿のこのご功績を顕彰し、もって私たちの誇りと喜びにしたいと存じます。

本会の設立にあたり、事務局長をはじめ運営に携わった役員に激励のお言葉を色紙にお書きになり、一人一人に手渡されました。そのお言葉により、役員がどれほど力づけられたか計り知れないものがございます。また、若手会員に対しましては、社会人としての基本的なマナーなどについても、丁寧に、時には厳しくご指導くださいました。教育カウンセラーとしての専門的な指導にとどまらず、私たち会員が社会人として、人間として、生きていく上で大切な多くのことを、先生から学ばせて頂きました。未熟な私たちに対しても真正面から向き合って、根気強く教え、励まし、育ててくださいました。

同時に、貴殿は、本県の指導主事をはじめ、秋田大学教育学部附属中学校副校長、文部省教科調査官、財団法人日本進路指導協会監事などを歴任され、現在は本会代表、秋田県小・中学校進路指導研究会名誉会長としてご活躍されていらっしゃいます。本県のみならず、わが国の進路指導をはじめとする教育界の発展に多大なご尽力をなさいました。

このような偉大な先達となる先生から、今後も見守りとご指導を頂戴することが叶いますならば、私たち秋田県教育カウンセラー協会の大きな支えとなることと存じます。

よってここに深く感謝と敬意を表しまして、感謝状をお贈りいたします。

平成二十四年九月二日
秋田県教育カウンセラー協会
代表代行 濱田 眞
代表代行 渡辺 一郎
理 事 浅沼 知一
理 事 佐藤 健吉